

平成30年度第6回常滑市教育委員会定例会会議録（概要）

開催日	平成30年9月27日（木）
開催場所	市役所4階第3会議室
時間	開会 午後1時30分 閉会 午後2時25分
出席委員	委員 伊藤 直 委員 渡辺 慶太郎 委員 久田 孝寛 委員 鬼頭 明美 教育長 加藤 宣和
出席した職員	教育部長 山崎 巖生 学校教育課長 中野 直樹 学校教育課付課長 佐藤 茂樹 生涯学習スポーツ課長 浜崎 博充 学校給食共同調理場長 澤田 真宏
傍聴者	なし
事務局	学校教育課副主幹 芦萱珠代
議案	なし
報告	(1) 平成30年度常滑市表彰条例による候補者の内申について (追加) (2) 部活動指導ガイドラインについて (3) 第23回市民スポーツフェアの開催について
その他（諸報告）	行事連絡（9月～11月）

発言者	発言の要旨
教育長	平成30年度第6回教育委員会定例会を開催する。 平成30年度第5回教育委員会定例会会議録を各委員に諮り承認された。 会議録署名委員に久田孝寛委員を指名した。
教育長	教育長の報告事項につきまして、8月の定例会以降の教育委員会の動きについて主なものを3点ご報告いたします。 1点目は、8月24日に市民文化会館で、市内外から300名を超える小中学校の先生に集まっていたいただき、常滑市教育研究大会を開催いたしました。まず、平成29年度小中学校社会体験型教員研修でレゴブロックのテーマパークとして平成29年4月に開園したばかりのレゴランドジャパンで研修されてきた青海中学校の宮原徹先生から研修報告をしていただきました。続いて、「自ら学び、深く考え、主体的に行動する子の育成を目指して」と題して、愛知県のアクティブラーニングの研究指定を受けてみえた大野小学校の教務

発言者	発言の要旨
<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>学校教育課長</p>	<p>主任喜多光先生から実践発表をしていただきました。その後、文部科学省初等中等教育局 特別支援教育課 特別支援教育調査官の田中裕一氏から「今後の小中学校等の特別支援教育の方向性」という演題でお話をしていただきました。現在、いろいろな理由で指導が困難になっている子どもたちがいます。合理的配慮と学習指導要領改訂を中心によりよい教育を子どもに提供するために、どうすべきか先生の経験も交えてお話いただきました。</p> <p>2点目は、8月28日に、韓国龍井中学校の44名の中学生が常滑中学校で常滑の中学生と名刺を作成し交換したり、急須で日本茶を入れてもてなしたりし、交流イベントを楽しみました。これは、片岡市長がボーイスカウト活動を通じて知り合った韓国の友人から名古屋大韓民国総領事館を通じて依頼があり実現したものです。常滑からは常滑中学校の40名程の中学生がボランティアで参加してくれました。</p> <p>3点目は、現在、8月31日から9月28日までの29日間の日程で9月議会が開かれております。今回は、教育委員会関係の議案としては、「常滑市立学校設置条例及び常滑市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について」を上程してあります。これは常滑大谷土地区画整理事業の換地処分に伴い、小鈴谷小学校及び小鈴谷保育園の所在地番が変更になったために、小鈴谷小学校の所在地番が「大谷字井戸尻」を「大谷朝陽ヶ丘一丁目」とするというものです。また、一般質問として加藤代史子議員から「熱中症対策について」、「学校施設や通学路の安全性の確保について」と「中学生を防災リーダーに育成することについて」、盛田議員から「スポーツ振興について」「学校、保育園等の屋外周辺の維持管理について」、西本議員から「小中学校のエアコン設置について」と「通学路の安全性について」、井上議員から「全ての小中学校に冷暖房の設置を」のご質問をいただきました。</p> <p>4点目は、9月13日に常滑中学校で熱中症に関する講習会を藤田保健衛生大学病院の救急総合内科の加藤千紘先生に来ていただき、各学校の養護教諭、部活動担当者および管理職の先生方に向けてお話をしていただきました。</p> <p>さて、本日は議案がなく、3つの報告事項を予定しております。報告第1号、平成30年度常滑市表彰条例による候補者の内申について（追加）の説明をお願いします。</p> <p>資料に基づき説明。</p>

発言者	発言の要旨
教育長	報告第2号、部活動指導ガイドラインについて説明をお願いします。
学校教育課付課長 委員1	資料に基づき説明。 小学校の部活は児童にとって授業の一環なのではないでしょうか。
委員1	それとも、児童たちが共通の興味や関心があるクラブがあり、希望する児童たちで活動しているのでしょうか。
委員1	小学校は、希望制で入っていると思います。習い事等もございませんので、強制はしておりません。
学校教育課付課長	中学校はどうなのではないでしょうか。中学生は必ずどこかの部に入らなければいけないのでしょうか。
委員1	希望制で入っていると思います。基本はどこかに入っていると思います。しかしながら、諸事情によりどの部にも入っていない生徒もいるとは聞いております。
委員1	小学校の間は、色々な選択肢があり、自由な感じがしますが中学校になっても、学校の部活以外に興味があり、それを小学校から継続して続けていきたいという希望があれば、それも選択肢の一つとして、そのことを続けられるようにするのも良いのではないかなと思いました。
教育長	本市は、平成9年、10年、11年と学校の部活動の見直しを行いました。その時に、段々と子どもの人数も少なくなり、先生の人
委員2	数も少なくなってきたため、従来の学校活動ができなくなるということから、部活動検討委員会で検討をいたしました。結果、全員加入制を止めるという見直しをし、4つの活動の場を設けて、学校で部活動する、学校と民間で活動する、スポーツ団体などの民間で活動する、民間で活動するというように自分たちで選択できるようにしました。また、学校の部活動の指導者については、外部指導者を学校へ派遣する形にいたしました。教育委員会から派遣するにあたり、外部指導者には講習会を受けていただき、終了後、ライセンスを持った人を派遣しております。また、講習会は外部指導者の方だけでなく既に地域で子どもたちに指導をされている方たちにも講習を受けていただき、指導の仕方や子どもの成長、発達、体力の特性に対しての注意事項等の新しい理論を勉強していただくということも決めました。
委員2	中学の部活は生徒が成長するうえで重要なことだと思います。しかしながら、教職員の働き方の問題、気温の状況などにより、できる範囲でしか活動できないのかなと思います。また、新任の若い先生たちはすごく意欲を持っている方もいますが、週2日以上は休む

発言者	発言の要旨
委員 2 学校教育課付課長	とか、朝の時間をなくす等、これからは必要になってくるのかなと思います。また、部活の時間を少なくしていくとなると生徒指導上の問題はないでしょうか。
委員 2	生徒たちは帰宅後も、習い事も含めて色々なところに行っています。生徒指導も本市に限っていえば、子どもたちは落ち着いていると思います。
委員 3	最近、中学生の帰宅時間が早いなと思っていました。昔はテスト期間中だけであったような気がします、逆に良いことかなと思います。家庭の中でのふれあい、地域の方たちとのふれあいもできてくる大事な時間であると思いました。
委員 3 教育長	私も良いことだと思います。しかしながら、中学校の部活の場はいは半田祭とか郡大会等、他校との対抗戦もありますので、練習量について、他市町との条件を揃えるということは必要ではないかなと思います。
教育長	愛知県がこのようなガイドラインを策定しております。それぞれの市町もこのガイドラインに沿って考えているので概ね同じかと思っています。
教育長 生涯学習スポーツ課長	報告第3号、第23回市民スポーツフェアの開催について説明をお願いします。 資料に基づき説明。
教育長	その他の教育諸条件・労働条件整備についての要求書については、知多地方教職員労働組合と10月15日(月)に話し合いをいたします。
教育長	行事連絡(9月～11月)の報告をお願いします。 資料に基づき説明。
学校教育課長 教育長	他になければ、これをもって平成30年度第6回教育委員会定例会を閉会します。